



各常任委員会に付託された案件について、審査した内容と結果を掲載しています

委員会レポート



予算常任委員会 総務環境常任委員会 文教厚生常任委員会 産業建設常任委員会

予算常任委員会

◎委員長 ○副委員長

予算常任委員会

◎久保 史睦 ○前島 広紀 植山 太介 今吉 直樹 竹下 智行 前田 幸一
山口 仁美 宮田 竜二 徳田 修和 仮屋 国治 下深迫孝二 宮内 博

予算常任委員会では、2件の議案の審査をしました。

令和4年度霧島市一般会計補正予算(第10号)

38億783万9千円 追加

主な事業

- 予防接種事業 3億8,720万7千円
(オミクロン株に対応したワクチン接種体制構築に要する経費)
- ウクライナ避難民生活支援事業 168万円
- きりしま旅割クーポン事業 1億9,354万円 ほか



植山 太介 議員

Q ウクライナより避難された方から、直接要望等受けているのか。 **A** 避難民について直接把握していないが、国の基準に準じて支援する計画である。

令和4年度介護保険特別会計補正予算(第2号)

5億1,754万8千円 追加

総務環境常任委員会

総務環境常任委員会

◎宮田 竜二 ○今吉 直樹 松下 太葵 藤田 直仁 松枝 正浩 前島 広紀
有村 隆志 仮屋 国治 宮内 博 ◎委員長 ○副委員長

ここに注目!

総務環境常任委員会では、1件の議案と1件の陳情を審査しました。

運転期間を20年延長しないことを求める陳情

住民の安心・安全な暮らしが必ず守られるという確証なしに川内原発の20年延長は認められないとの議決を求めることや、政府と県に対して、霧島市議会からの原発40年運転期間を守る意見書の提出を求める内容



宮内 博 議員

Q 日本の原発は、武力攻撃を受けることを想定していないと言われているが、新たな現実的危険性はどうか。

A 原子炉が一重であるのでミサイルや飛行機が落ちたりした時に、壊れるリスクが非常に高い。



松枝 正浩 議員

Q 原発を止めた場合、再生可能エネルギーを活用していかなければならないと思うが、どのように認識されているのか。

A 電力の自由化や送配電の分離が進められたが、送配電の分離は欧米のように進んでいないため、再生可能エネルギーの障壁になっている。



園児による味噌仕込みの様子



「医食同源」という言葉があります。これは、体によい食材を日常的に食べて健康を保てば、特に薬など必要としないという、薬食同源の考えをもとにした造語とも言われています。
霧島市には、その土地の気候風土に合った、体によい食材を作っている人や場所がたくさんあります。たとえば、霧島市福山



町で生産されている「黒酢」は、江戸時代から調味料として使われており、ここ数十年で健康食材として認知されるようになり、蒸し米、米麴、地下水を仕込み、太陽熱だけで発酵・熟成させて造られます。また、国分新町の「ひより保育園」では、給食に使う味噌を、園児たちが霧島産の原材料を使って「おいしくな



れ!おいしくなれ!」と言いながら、毎月手作りしています。
楽しみながら健康づくりに取り組む方法の一つとして、霧島市の食ブランドである「ゲンセン霧島」に認定されている食材や商品を探してみるのもオススメです。霧島で生産される「旬」の食材で、心も身体も元気になる食事を心がけましょう。



霧島ガストロノミー

「地域を丸ごと味わう」という考え方で、霧島の大自然が育む水や農林水産物、食の知恵と技を紹介。食文化を活かした「美味しい霧島」を創造しています。



すがめちゃんオススメ!
心と身体を
元気にする食事

